

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2023年6月号>

192号 2023.06.01 配信

紫陽花の美しい時季となりました。先月、コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行となりました。それと同時にインフルエンザの集団感染が高校生の中に発生したという報道を目にしました。感染対策が大きく緩和されたことや私たちの集団免疫の低下、大勢で集まってマスクをはずすなどが理由として考えられるそうです。

コロナウイルスが消えてはいないので、インフルエンザ予防とともに手洗い、消毒、換気、マスクの着用(個人の判断)など、引き続き感染症対策を行っていきましょう。(『食』関連ネットワーク)

## ■同窓会だより※支部長会と総会の詳細は会報102号で報告します。

◇全国支部長会を開催しました 5月20日(土) 14:00~16:30

品川プリンスホテルの会場に44名、Zoomで6名の支部長が参加しました。

第1部は、吉田昌志副学長にご挨拶をいただき、松田忍アドミッション部長、伊藤純キャリア支援部長から大学入試状況、就職動向の説明を受けました。新支部長の紹介と挨拶に続き、支部長研修で神奈川県支部長と富山県支部長から支部会の開催状況や工夫について報告がありました。

第2部は、坂東眞理子総長、山崎日出男理事長にもご出席いただき、参加者で親睦を深めました。



◇第50回光葉同窓会総会を開催しました 5月21日(日) 10:30~14:30

第1部は、学園グリーンホールにて、会場に140名、Zoomで20名が参加して開催しました。金子朝子会長の挨拶後、坂東眞理子前理事長(現総長、光葉同窓会新特別顧問)と小原奈津子前学長に感謝の花束を贈呈、続いて、学園に寄付金の贈呈を行いました。出席いただいた坂東総長、山崎日出男理事長、金尾朗学長(同窓会顧問)がご挨拶をされ、学園の現況や取り組みなど母校の様子をお聞きしました。

次に議長長を選出し議事を進行、活動報告及び決算報告、会計監査の報告があり、活動計画案および予算案、会則改定の提案と続き、全て承認されました。支部長と新支部の紹介があり、国内支部で設立50年以上の14支部を表彰しました。

第2部は、学園本部館大会議室に会場を移し、来賓26名をお迎えして懇親会を行いました。新体制光葉同窓会創立50周年を祝しての鏡開き、乾杯で歓談に入りました。懇親会場ロビーのお楽しみ広場の出店で買い物を楽しみ、さらに、50周年記念抽選会も行われ、盛り上がる中、三々七拍子で締めて閉会しました。



## ◇2023年度幹事会のご案内

6月17日(土) 11:00~12:30 学園本部館3階大会議室

学年幹事の皆様にはがきでお知らせしております。返信の締め切りは6月6日(火)です。

ぜひご出席ください。

## ■広げよう光の葉

貴家 由美子さん

生活科学科 1988年卒

### 「世の光となろう」

学生時代には、この学園目標を達成できる人になれるのだろうかと不安でした。学長である人見楠郎先生の授業を記念講堂で受けている時にも、自分が大人として人の為は何者になれるかは想像できませんでした。昭和女子大学での学びには、「学びたい時に学べる」その環境が整っていました。夏休み中もほぼ毎日学校へ行き、教授と友達と様々な内容の話をしていました。

原子や電子の研究をしている教授が、源氏物語を原文で読んでくださる場面があり、当時若かった私たちはクイズのように質問しては、先生の博学さに驚きながら楽しんでいました。専門的研究者である先生が、他にも深く学んでいることがあるという事実が、私の描く「大人像」を変化させてくださったように思います。

管理栄養士とは違う道に進んだ私は、いつしか年を重ね、子育てをしている間に新しい学びのチャンスがやってきました。

#### 1.子どものPTA役員から、学びが始まる。

子どもたちの為になにができるのか。学校の立場とは、義務教育とは何なのかと、文科省作成の教育指導要領を読むところから始まり、第2次八王子市教育復興基本計画「ビジョンはちおうじの教育」2015年から19年度の政策会議のメンバーとして参加。現在は学校運営協議会の会長として地域と学校を繋ぐ活動をしつつ、児童の居場所確保のために放課後子ども教室の運営や、授業への外部講師の調整、保護者向けの講演会の企画も行います。

#### 2.子どもが発達障害であったために、学びが始まる。

発達障害について明星大学の星山麻木教授のもと、4年間の学びで「特別支援士」の資格を取り、キャラバン隊を立ち上げ活動を開始。八王子市教育委員会と共に講座や育成プログラムを実施する中で「星とおひさま Fika キャラバン」は、文科省の認定団体「家庭教育支援チーム」となりました。千葉県教育委員会、逗子市、多摩市などでも講演してきました。

#### 3.東日本大震災を体験し、学びが始まる

八王子市防災課と、東京都立大学の市古太郎教授と共に「防災ワークショップ」を計画し、継続実施するなかで、19年度より「東京都防災会議委員」として委嘱されました。現在もこの委員を継続し、さらに「東京都国民保護協議会委員」「東京都石油コンビナート等防災本部本部員」も兼任しています。

「世の光となろう」を胸に、どの場所でもいい、どんな明るさでもいい。人を照らせる小さな光としていたいと思っています。 【End】